

トヨタ紡織、「人とくるまのテクノロジー展2019名古屋」に出展

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、7月17日（水）から19日（金）にポートメッセなごや（愛知県名古屋市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2019名古屋」に出展します。

今回は、自動運転や次世代自動車へ対応した技術・製品や、自動車技術会の「技術開発賞」を受賞した技術を紹介します。

1. 主な展示品

1) 自動運転への対応

シートが乗員の生体情報を検知し、感情を推定して、状態に応じて音や光で快適を提供する技術の紹介

2) 次世代自動車への対応

①リチウムイオン電池

②ハイブリッドシステム用モーターコア構成部品

③燃料電池構成部品セパレーター（燃料電池車 MIRAI 搭載）

3) 自動車技術会 「技術開発賞」受賞技術の紹介

①表皮一体発泡工法の特長を生かした高フィット感シートの開発

②高耐衝撃軽量発泡ドアトリムの開発（トヨタ クラウン搭載）

2. 出展場所

ブース番号：139

トヨタ紡織は、世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” –より上質な時間や空間の提供を目指します。

以上